

## 令和2年度岩手県政策評価委員会

(開催日時) 令和3年2月10日(水) 10:00~10:40

(開催場所) 盛岡地区合同庁舎 8階大会議室

- 1 開 会
- 2 あいさつ
- 3 議 事
  - (1) 令和2年度政策評価等の実施状況及び各専門委員会の開催状況について(報告)
  - (2) 令和2年度政策評価結果等の政策等への反映状況について(報告)
  - (3) その他
- 4 閉 会

### 出席委員

加藤徹委員長、吉野英岐副委員長、市島宗典委員、工藤昌代委員、斉藤徹史委員  
西田奈保子委員、石川奈緒委員、泉桂子委員、小笠原敏記委員、清水真弘委員  
谷本真佑委員、武藤由子委員、狩野徹委員、小井田伸雄委員、島田直明委員  
松山梨香子委員、八重樫健太郎委員、山本英和委員

### 欠席委員

竹内貴弘委員、竹村祥子委員

## 1 開 会

### <事務局から開会宣告>

## 2 挨拶

**○照井政策企画課総括課長** それでは、開会に当たりまして政策企画部副部長の岩渕から御挨拶を申し上げます。

**○岩渕政策企画部副部長兼首席調査監** ただいま御紹介をいただきました副部長の岩渕です。本来部長が出席する部分でございますけれども、来月で震災からちょうど10年目を迎えるということで、復興委員会の会議が本日、同じ時間に並行して行われておりまして、部長はそちらに出席しておりましたので、私がこの場に出席させていただきました。まずは、本当にお忙しい中、御出席いただきまして厚く御礼を申し上げます。

本日18名の委員の皆様の出席いただいております。コロナウイルス感染症の拡大の中でリモートで9名の委員の方々に御参加いただいているという状況でございます。

新しいいわて県民計画(2019~2028)ですけれども、おかげさまをもちまして昨年度からスタートしたところでございます。この新しい県の総合計画につきましても、より県民の暮らしや生活に密着した角度から政策効果を高めていきたいという観点から従前の産業振興ですとか、福祉の向上のような柱立てで行っていたものを県民の暮らしに密着した形で健康・余暇、家族・子育てですとか、仕事・収入といった生活にどういうふうに効果が

出てくるかという分かりやすい分野を設定し、さらには県民一人一人の幸福度を高めていきたいということで、いわて幸福関連指標という指標を各政策理念として設定し、進めることとして、指標の達成状況を踏まえた評価は、今年が初年度になっております。おかげさまでもちまして、国会でも取り上げられましたし、国の方でも満足度調査なども進めていくというような動きがある中で、いろいろ声をかけていただいて、様々な場面に紹介されたりしている状況でございます。

一方で、コロナウイルス感染症の拡大に伴いまして、今年度の評価自体は比較的できたのかなと思っておりますが、来年度の評価ですね、今年度の実績がかなりこの影響を受けてくるのではないかなというふうに考えておきまして、その辺をどうしていくかということなどについて、また政策評価専門委員会と御議論いただきたいと思っております。また、公共事業評価、大規模事業評価でございますけれども、県民の幸福度を高めていくための社会基盤、全ての分野の土台に関わるものでございます。こうしたものにつきましても制度をスタートして長くなってはおりますが、また県民計画が幸福度という点に着目したということ踏まえまして、今後さらに多方面からいろいろ御議論いただければなというふうに考えているところでございます。

本日でございますけれども、今年度の各専門委員会の開催状況とともに政策評価結果の政策等への反映状況について御報告する予定となっております。何とぞ幅広い観点から様々な御意見をいただければと思っておりますので、どうぞよろしくお願いいたします。

### 〔事務局から委員 20 名中 18 名の出席により会議が成立する旨の報告〕

## 3 議 事

### (1) 令和 2 年度政策評価等の実施状況及び各専門委員会の開催状況について（報告）

**○照井政策企画課総括課長** それでは、議事に入らせていただきます。議事の進行につきましては、条例の規定により加藤委員長にお願いいたします。よろしくお願いいたします。

**○加藤徹委員長** 皆さん、おはようございます。委員長を仰せつかっております加藤でございます。一言簡単に御挨拶を申し上げましてから議事進行に移らせていただきたいと思います。

本日は、皆様には年度末を控えまして大変御多忙中にも関わらず、御出席、御参加いただきまして、誠にありがとうございます。

まず初めに、先ほど副部長さんのほうからの御挨拶の中にもありましたように来月 3 月 11 日で東日本大震災から丸 10 年という節目を迎えることとなります。この大震災の復旧・復興の中の復興の部分については、この先もう少し時間を要するものもあろうかと思いますが、防潮堤、道路、河川等のいわゆる公共施設のようなものはほとんど完了に近づいております。自分も震災後いろんなところを見させていただいたときにはとても短い年数では復旧困難だろうと思っていたのですが、震災後の災害査定の間を除きますと実質丸 9 年ぐらいでほぼ完成近づけていただけたということにつきましては、関係各位の皆様へ深く敬意を表したいと思っております。

このような状況下におきまして、昨年の初めからは、今度は新型コロナ感染問題で悩ま

されております。そのために本日の委員会もウェブ会議という形で実施させていただくことになっております。専門委員会のほうでは、政策評価専門委員会のほうでは、昨年からウェブ会議を導入しているようですが、本委員会としましては今回が初めてということでございます。今後は新型コロナ感染、これが終息したとしても働き方の方はテレワークのような形がかなり定着してくるのかなど。また、こういう会議におきましてもウェブ会議のようなものが定着する可能性があるのかなど思っております。ただ、今とはとにかくワクチン等の接種、それらを積極的に進めていただいて、とにかく一日も早い終息を願うだけでございます。

ところで、本日は昨年度の委員長、副委員長の選任、各専門委員会委員の指名という議題はありませんで、委員の皆様には昨年どおりそれぞれの専門委員会を御担当、御協力いただくこととなりますので、よろしくをお願いいたします。

したがいまして、本日の議題としましては、先ほど御紹介いただきましたような令和2年度政策評価等の実施状況及び各専門委員会の開催状況について、それから令和2年度政策評価結果の政策等への反映状況について、この2つのみであり、委員の皆様には忌憚のない御意見をいただきますようお願いを申し上げまして、簡単ですが、挨拶に代えさせていただきます。本日はよろしくをお願いいたします。

それでは、早速議事の方に入らせていただきたいと思いますと思いますが、議事の(1)番目、令和2年度政策評価等の実施状況及び各専門委員会の開催状況について、これにつきまして事務局の方から御説明をお願いいたします。

#### 〔資料1に基づき説明〕

○加藤徹委員長 ありがとうございます。それでは、ただいまの御説明につきまして、何か御質問、御意見ありますでしょうか。会場においでの方々ではございませんか。

「なし」の声

○加藤徹委員長 ウェブで参加されている委員の先生方、何か御質問等ございませんでしょうか。よろしいでしょうか。

「なし」の声

○加藤徹委員長 それでは、この議案につきましては、委員会として了承させていただいたということにさせていただきたいと思っております。それでよろしいでしょうか。

「はい」の声

#### (2) 令和2年度政策評価結果等の政策等への反映状況について（報告）

○加藤徹委員長 それでは、続きまして議事(2)、政策評価結果等の政策等への反映状況について、これについても事務局の方から御説明をお願いいたします。

〔資料2に基づき説明〕

○加藤徹委員長 ありがとうございます。それでは、ただいまの説明につきまして何か御質問等がございますでしょうか。この報告書につきましては、委員の皆様には事務局から事前にメール等で配信されていたと思うのですが、目を通していただいて何か御質問等ございませんでしょうか。内容的には非常にボリュームのある報告書をいただいでいて、お目通しいただいてもなかなか御質問等難しいところあるかと思うのですが、ウェブで参加いただいている委員の方々、御質問ございませんか。

では、意見が出る間、私の方から1つだけ確認させていただければと思います。報告書の25ページ、8の自然環境の分野になりますが、この今後の方向というところで温室効果ガス排出削減対策を総合的に推進しますというふうに書かれてあるのですが、このところ、具体的にはどのように取り組むのか、調書でいいますとどこの部分に記載されているのか、お教えいただければありがたいと思うのですが。

お願いいたします。

○高橋環境生活企画室企画課長 環境生活部でございます。

ただいまお尋ねのございました温室効果ガス排出量の削減についてですが、先ほど一部事務局の方から御説明があったところがございますが、県では今年度内に第2次岩手県地球温暖化対策実行計画を策定いたしまして、温室効果ガス排出量の2050年実質ゼロを見据え、そこに至る道筋として2030年度の温室効果ガス排出削減割合41%を目標として掲げまして、省エネルギー対策の推進、再生可能エネルギーの導入促進、また森林吸収源対策をはじめとした多様な手法による地球温暖化対策の推進に取り組むこととしているところでございます。

この計画に基づきまして、令和3年度には、先ほど事務局からも御紹介がございましたけれども、主な反映結果の新規事業の創出の3つ目の丸に記載しております事業ですが、こちら新規事業といたしましてゼロカーボン推進事業を創設して、家庭の省エネルギーを進めるための省エネ住宅に関する相談事業でありますとか、戸建て住宅の省エネ診断等の実施、また事業所におけるLED照明などの高効率省エネ設備導入整備に対する補助、県有施設での再生可能エネルギー由来100%の電力使用に向けた検討や、一般家庭における太陽光発電及び蓄電池の共同購入、そして海藻などを二酸化炭素吸収源とするブルーカーボンの普及啓発などを進めることとしているところでございます。

こういった形で県民や事業者の皆様と一体となった取組を推進していくこととしております。

○加藤徹委員長 ありがとうございます。

委員の皆さん、何か御質問等ございませんでしょうか。  
どうぞ。

○吉野英岐副委員長 県立大学の吉野でございます。

昨日も総合計画審議会がありましたけれども、県営住宅活用促進モデル事業というのが来年度予定されているということで、そこでちょっとお伺いしたいと思います。2ページ

や70ページにその概要が書かれているわけですがけれども、県営住宅については先ほど新規の整備は終わったということがお話ありまして、恐らく入居の基準というのが定められていますので、新しい入居を進めるとなれば一定程度の工夫をしなくてはいけないのかなと思って聞いておりまして、例えば目的外使用に当たるものでやっていくのか、あるいはまた別な形でやっていくのか、そしてまた若者を新しく入れることによって、どういったような効果を狙っていらっしゃるのか、担当のセクションの方いらっしゃればお聞きしたいと思っております。よろしくお願いたします。

○加藤徹委員長 事務局の方よろしくお願いたします。

○菊地県土整備企画室企画課長 県土整備部でございます。

資料の70ページをお開きいただきたいと思っております。70ページの新規事業の創設のところで、県営住宅ストックを活用した若者への住宅支援を行うために、県営住宅活用促進モデル事業費というものを創設して、県営住宅の空き住戸に通信環境、Wi-Fi環境を整備するというものでありまして、行政財産の目的外使用として対応するような形で実施することにしております。若者あるいはUターン、Iターンといった方々に向け、盛岡の松園団地とか奥州、北上といったところにWi-Fi環境を30戸整備をして、子育て世代も含めた若者の入居の促進を図っていくという取組を進めたいと思っております。

松園につきましては盛岡市の方で団地再生といいますか、地区の活性化みたいなどころを取り組んでいまして、そういった活動に入居した若者が参加してもらえるような工夫も取り入れながら取組を進めていきたいというふうに考えております。

あとは公営住宅、災害公営住宅とか整備をして、一般公募とかも始めたりもしているのですが、なるべくそういった社会資本ストックを有効活用できるような形で取組を引き続き進めていきたいと思っております。

○吉野英岐副委員長 効果はどのぐらい見込んでいらっしゃいますか。

○菊地県土整備企画室企画課長 効果的な部分につきましては、30戸ということで盛岡市の団地に10戸、それから北上市内の公営住宅に10戸、それから奥州に10戸ということで、30戸を提供しながら進めていきたいと思っております。

○吉野英岐副委員長 ぜひよろしくお願いたします。ありがとうございました。

○加藤徹委員長 どうぞ。

○照井政策企画課総括課長 若干補足させていただきます。昨日も総合計画審議会の方で説明させていただきましたが、令和3年度の県の施策の重点としまして若者の活躍支援ということで、住宅を支援することでございます。これにつきましては独身あるいは結婚、子育てのライフステージに応じまして、それぞれ今ありました県営住宅の活用や、あるいは結婚世帯に向けた引っ越し費用とか、住宅費用の支援、それからU、Iターンに係る引

っ越し等の支援あるいは県産材を使って住宅を建てる場合の支援とかをパッケージとして今回そろえて整備、支援を考えているところでございます。この背景でございますのは、最近若者の地方への移住などそういうのがなかなか厳しくなっていて、それが自立とかそういうのに影響があるのではないかとということで、若者の経済的支援をしながら自立とか定住につなげていきたいということで、人口減少対策に資するのではないかとという観点から取組を進めようとしてございまして、今年度ワーキングチームを立ち上げまして、部局横断的に検討してきたところございまして、来年度今度議会で予算承認されましたら取組を進めながら、さらにブラッシュアップを図りながら取組を進めていきたいというふうに考えてございます。

**○加藤徹委員長** よろしいでしょうか。それでは、ほかに御質問、御意見等ございませんでしょうか。会場に御出席いただいている委員の方々、何かありませんか。よろしいですか。

「なし」の声

**○加藤徹委員長** ウェブで御参加いただいている委員の方々、何か御質問等ございませんでしょうか。よろしいですか。

「なし」の声

**○加藤徹委員長** それでは、この議事の（２）番目、令和２年度政策評価結果等の成果等への反映状況について、御報告どおり御承認させていただくことにさせていただきたいと思えます。

### （３）その他

**○加藤徹委員長** それでは、議事の（３）、その他、まず事務局の方からは何かその他ございますでしょうか。特にありませんか。

**○北島政策企画課評価課長** ございません。

**○加藤徹委員長** それでは御出席、またウェブで御参加いただいている委員の方々から何か御意見等ございませんでしょうか。

「なし」の声

**○加藤徹委員長** ウェブで御参加いただいている小井田委員とか御質問等ございませんか。特によろしいですか。

どうぞ。

○**小井田伸雄委員** 今回は時間を効率的に使うということもございまして、ウェブによる参加をさせていただいてございます。非常に効率的に進んでよかったのですが、最初の方で、会議で音響が反響してちょっと聞き取りづらいところもありましたので、次回以降ぜひウェブ会議を推進していただきたいのですが、その際に環境等も配慮していただくとよりスムーズに進められるのではないかなと感じました。

○**加藤徹委員長** ありがとうございます。これについては、今後事務局の方で対応を考えていただければと思います。我々もほかの委員会でウェブ会議でやっているのが幾つかあるのですが、音声途切れたり、まだ定着するまでには、ここ1年で精度はよくなってくるのだらうと思いますけれども、その辺ぜひ事務局の方でできる限りの御対応いただければと思います。

それでは、ほかにございませんでしょうか。

「なし」の声

○**加藤徹委員長** それでは、本日予定されました議事はこれで終了させていただきたいと思っております。御協力ありがとうございました。進行を事務局のほうに戻させていただきます。よろしくお願ひします。

○**照井政策企画課総括課長** 加藤委員長、ありがとうございました。

#### 4 閉 会

〔事務局から閉会宣告〕